

News Release

2010年05月31日

ディーリンクジャパン株式会社

IPv4 アドレス枯渇へ対応した IPv6/IPv4 トランスレータ ソリューション 「DFL-2560/IT」販売開始のお知らせ

ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:廖 晋新(マーティ・リヤオ)、以下: D-Link)は、企業がこれから直面するIPv4アドレスの枯渇問題を円滑に解決するIPv6/IPv4 トランスレータソリューションの提案として、先行して販売開始をしている「DFL-1660/IT」の上位機種である「DFL-2560/IT」を5月31日からパートナー各社を通じて販売開始いたします。

2010年から2011年にかけて発生するであろうIPv4アドレスの在庫枯渇問題に向けて、企業の資産でもあるIPv4対応ネットワーク機器を活きた資産として十分に活用ができるよう、D-LinkではIPv6/IPv4トランスレータで豊富な実績を誇る横河電機(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長:海堀 周造)のTTBシリーズをトランスレータエンジンとして採用したIPv6/IPv4トランスレータアプライアンス「DFL-2560/IT」を提供いたします。DFL-2560/ITの標準価格は下記の通りとなります。



DFL-2560/IT (標準価格:¥2,480,000)

DFL-2560/ITはDFL-1660/IT同様IPv6ネットワークとIPv4ネットワーク間をシームレスにつなぐIPv6/IPv4トランスレータで、最大同時50万セッションのIPv6/IPv4トランスレーションの他、DNS-ALG、IPv4やIPv6クライアントからのDNS Queryの自動変換、IPv6⇄IPv4変換テーブル自動作成、負荷分散機能等、DFL-1660/ITと同様の機能が搭載されています。

DFL-2560/ITの独自機能として、Active/Standbyの冗長化機能がサポートされています。この機能が実装されていることにより、クリティカルなネットワークでも安定したパフォーマンスと高い信頼性及びコストパフォーマンスを発揮し、優れた冗長性と拡張性を実現します。

【D-Link 社について】

世界68ヶ国、166拠点を有するグローバルネットワークベンダーであるD-Linkは20年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレスLAN製品群、メディアコンバーター、IPカメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Linkはこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーンIT”に注力しています。日本ではOEM事業を展開した後、2005年7月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link製品の国内への浸透を図っています。